



**新型コロナワクチン  
副反応リスクの周知を**

伊崎 博幸（無所属）



**問／**新型コロナワクチン（mRNAワクチン）接種後の副反応に関し、全国で予防接種健康被害救済制度を申請する人、重篤者、死者が激増している。この事実を市民に周知すべきではないか。

**答／**コロナワクチンに限らず、様々なワクチン接種の際に予防接種健康被害救済制度などを案内し、周知を図っている。必要であればホームページにも掲載していく。

## 予防接種健康被害救済制度

※新型コロナワクチンを除く

これまでの全てのワクチン  
（期間：1977年2月～）

新型コロナワクチン  
（期間：2021年2月～）

※新型コロナワクチン「死亡」申請

**1,485件** →

認定 777件

否認 329件

※全国の数値

## 死亡認定数

2024年9月2日公表分まで

**158件**

**777件**

審査未了

**381件**



**市長は辞職勧告決議を  
受けなぜ辞職しない！**

宮越 馨（無所属）



**問／**議員の8割を超える賛成で成立した辞職勧告をなぜ受け入れないのか。議会軽視だ。民主主義の原則を無視している。

**答／**辞職勧告決議が可決されたことは重く受け止めているが、様々な意見をお聞きする中で、応援してくれる方々に応えたい思いが強くなり、市長としての職責を全うする覚悟を固めた。

**問／**高卒者を蔑視する市長が続投すると、企業はそのようなまちに新たに事業所を構えようとはしない。高卒者からは「就職する際、中川さんが市長の上越市に戻るかは悩む」との声があり、多くの市民も嘆いている。即刻辞任すべきだ。

**答／**私の発言により、未来のある若者が進路に迷うことがあれば大変申し訳ない。厳しい声を厳粛に受け止め、不適切発言を猛省している。

**問／**辞職しない理由が今一つ不明だ。目に見えない圧力が存在しているのではないか。

**答／**厳しいご意見は重く受け止めているが、特別なしごみや圧力はない。

**問／**私との政策協定は「納得したらやる」とのことだが、納得したから協定を結んだのではないのか。初めから協定を守る気があったのか。市政の発展が遅れるばかりだ。政策を実現できないのであれば私が実現させるので辞任すべきだ。

**答／**方向性の似た政策は取り入れるつもりだが、財源状況などを見極めながら取り組んでいる。



**広域観光を見据え、  
連携と対応の強化を！**

高橋 浩輔（みらい）



**問／**今後の広域観光を見据え、観光振興課、魅力創造課、上越観光コンベンション協会はどのように連携していくのか。

**答／**魅力的な観光地域づくりのためには、自治体の境界を越えた広域的な観光戦略が重要になる。各々の魅力を組み合わせ発信し、各自治体の不得意分野を互いに補完することや、連携して人を呼び込み活性化を図ることなどが考えられる。既に県や近隣自治体と連携した取組を進めているが、インバウンド対応の視点等からも、今後一層広域連携の推進が必要であり、市内事業者の方々の協力や相互連携が不可欠である。上越観光コンベンション協会と市は、観光施策の両輪であり、広域観光推進に向けた連携体制として、自治体間の連携を市が、民間企業の連携を上越観光コンベンション協会が担っている。今後も役割を果たしつつ連携していく。

### 大規模リゾート開発構想への備えを！

**問／**妙高高原地域および長野県北信地域における大規模リゾート開発構想への対応は。

**答／**多岐にわたる波及効果が想定され、市としても大いに注目している。県や近隣自治体と協調し、積極的な情報収集に努めており、観光に限らず様々な分野への影響を勘案し、関係部局が連携してしっかりと対応できるよう備える。